

教科	英語	科目	コミュニケーション 英語基礎	単位数	2	学年	1	科	機械科
----	----	----	-------------------	-----	---	----	---	---	-----

1、科目の目標

- 1 4技能をバランスよく身につけることを図り、積極的に英語を使うことを目標とする。
2. 基礎的な文法力と語彙力をつけ、身近な話題と思える簡単な英文を読み進めることを通して、異文化に対する理解を深める。
3. 日常的な話題について、英語で基本的なコミュニケーションを図ることができる力をつける。

2、使用教科書・副教材

JOYFUL English Communicaton Basic (三友社)

3、学習の計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数
一 学 期	4月	Warming Up1~6	定期 考 査 ま だ に 学 ん だ 内 容	2 2
	5月	L1 We Choose		
	6月	L2 World Foods		
	7月	L3 Sanshine Day		
二 学 期	8月	L4 Our Life	定期 考 査 ま だ に 学 ん だ 内 容	3 5
	9月	L5 Super Cool Biz Project		
	10月	L6 The Power of Bonds		
	11月	L7 My School Days		
三 学 期	12月	L8 Ice Hotel	定期 考 査 ま だ に 学 ん だ 内 容	2 1
	1月	For Reading The Duck in the Gun		
	2月	1年間のまとめ		
	3月			

計 7 8

4、評価の方法

主体的な言語活動	自己表現力をつけさせるために、生徒との英問英答を中心とした対話形式を大切にする。
思考・判断・表現	音読、英問英答、練習問題等を通じて表現できているかを観察する
知識・理解	ノートやプリントなどを使い、積極的に理解しようとしているかを確認する。
技能	反復練習を通して定着を図り、積極的に英語を使い、表現しようとしているかを観察する。
関心・意欲・態度	出席、授業態度、提出物、反応など様々な観点から積極性を観る。

5、学習にあたっての注意とアドバイス

- ・英語学習への意欲・興味関心・やる気を引き出し、学習への達成感を感じることができるよう、基礎基本を重視した「わかる」授業を心がける。
- ・支え合い、学び合う中で、安心感を持って学ぶことができる学習環境作りをする。
- ・イラストや図式、映像、音楽など楽しく興味を持って、視覚や聴覚から学ぶことができる教材作りや板書の工夫。
- ・異なる文化や価値観を持つ人々と対話できる力、自分で考え、判断し、行動できる自己表現力を育てる。

教科	英語	科目	コミュニケーション 英語 I	単位数	2	学年	2	科	機械科
----	----	----	-------------------	-----	---	----	---	---	-----

1、科目の目標

1. 4技能をバランスよく身につけることを図り、積極的に英語を積極的に使うことを目標とする。
2. 基礎的な文法力と語彙力をつけ、身近な話題と思える簡単な英文を読み進めることを通して、異文化に対する理解を深める。
3. 日常的な話題について、英語で積極的にコミュニケーションを図ることができる力をつける。

2、使用教科書・副教材

JOYFUL English Communication I（三友社）

3、学習の計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数
一 学 期	4月	Warm Up 1 2 3 4 5 6 Lesson 1 Morning Relay	定期考查までに学んだ内容	2 2
	5月	Lesson 2 Dance! Dance! Dance! In Seoul		
	6月	Lesson 3 Can an Elephant Stand on Eggs?		
	7月	Lesson 4 Kurikindi —A Single Drop of Water		
二 学 期	8月	Lesson 5 People Design —A Cool Way to Live Together	定期考查までに学んだ内容	3 5
	9月	Lesson 6 Don't Cross This Bridge		
	10月	For Reading 1 Where Do You Come from? —Harry Potter and the Philosopher's Stone—		
	11月	Lesson 7 Kanga Saying		
三 学 期	12月	Lesson 8 Can Music Change the World?	定期考查までに学んだ内容	2 1
	1月	Lesson 9 My Favorite Athlete		
	2月	Lesson 10 Three Days to See For Reading 2 Malala's Voice to the World		
		1年間のまとめ		
	3月			

計 7 8

4、評価の方法

主体的な言語活動	自己表現力をつけさせるために、生徒との英問英答を中心とした対話形式を大切にする。
思考・判断・表現	音読、英問英答、練習問題等を通じて表現できているかを観察する
知識・理解	ノートやプリントなどを使い、積極的に理解しようとしているかを確認する。
技能	反復練習を通して定着を図り、積極的に英語を使い、表現しようとしているかを観察する。
関心・意欲・態度	出席、授業態度、提出物、反応など様々な観点から積極性を観る。

5、学習にあたっての注意とアドバイス

- ・英語学習への意欲・興味関心・やる気を引き出し、学習への達成感を感じることができるよう、基礎基本を重視した「わかる」授業を心がける。
- ・支え合い、学び合う中で、安心感を持って学ぶことができる学習環境作りをする。
- ・イラストや図式、映像、音楽など、視覚や聴覚から学ぶことができる教材作りや板書の工夫。
- ・異なる文化や価値観を持つ人々と対話できる力、自分で考え、判断し、行動できる自己表現力を育てる。